

府立東淀川高校同窓会会報

江風会

同 窓 会 創 立
30周年記念
特 集 号
発 行

大阪府立東淀川高校江風会

「ご挨拶」

同 窓 会 長
林 豊 行



江風会会員の皆様方には、益々ご健勝ご活躍のことと存じます。本校も創立三十周年を迎え、記念誌の発行や同窓会名簿が刊行されました。これを機会に江風会の新たな出発としようではありませんか。江風会の今までの活動は皆様もご存知の通り、その役を十分に果たしてきたとは思われません。昨年より微力ながら八期生の私が江風会会長の任を引き受けることになりました。江風会を盛り立てて行くためにはどうしたらよいか、私なりの初心を述べてみたいと思います。現在江風会の運営は、組織的には行われておらず、又、定

期的な会報や名簿の発行もなされておられません。専任の事務員及び、事務所もなく、現状のままで、組織的な運営は不可能に近い状態です。組織的な運営を行うためにはまず、第一に財源の確保、第二に組織の強化を計ることが、肝要かと考えます。昨年全国に年費を導入することの趣旨書を、送らせていただきましたのは、この考え方であり、財源を確保することにより、専任の事務員、並びに事務所(将来は同窓会館の設立)を持つことで、組織の強化を計りたいと考えています。卒業生の総数は一二〇〇〇人を超えております。江風会会員の皆様の中には、社会の指導的な役割をにない、立派に活躍されてる人も多く、これらの方々を先輩後輩にあられることを知ること、会員の皆様方の輪を広げ先輩後輩として絆を深めることにより、より一層のご活躍のお役に立てるものと思います。相互の絆を深め、その輪を広げる

ことで、会員の皆様に役に立つ江風会にしたいと考えます。社会に出ていろいろと仕事にありは、私生活の面で困難な壁にぶつかることも多いと思います。その様な時に同じ学

「ご挨拶」



名誉会長 中 井 隆

このたび、前校長長野元泰先生が、新装成った大阪府立体育館長として御栄転されました。あとのうけ、本校第九代校長として赴任いたしました。

あまりの急な異動のこととて、心の準備も身辺の整理もつかぬまま、本校へ参りました。が、校門を入ったすぐ正面に高く聳えるカイヅカイブキの大樹、大地にしっかりと根を張った蘇鉄に、30年の年輪をひしと感じました。この栄えある「江風会」の名譽会長に推されましたこと、まことに光栄に存じます。

お蔭をもちまして創立以来32年の歴代校長先生をはじめ、教職員の一致した協力と明るく素直な生徒諸君、そして背後から暖かく支援して下さい同窓生の方々のご尽力で、本校が発展と向上への一途を歩んでいます。心より敬意を表し感謝申し上げます。この間本校を卒業された卒業生の数は、本

び舎に育った人達のつながりが、きつとお役に立つことがあるでしょう。会員の皆様方の絶大なるご理解とご協力を承り、会の発展を計りたく思います。(友誼会病院院長)

年度卒業予定者数を加えて1万2千名にも達し、それぞれ有為の人材として社会のあらゆる分野で活躍しておられることは誠に心強い限りでございます。

学校も施設設備の面では大きな事も完了し、これからはじっくりと内面的充実を図らねばならぬ時期を迎えています。ハイテク時代の到来と共に時代の要請にこたえる人物の育成、国際的感覚をもつて広い視野に立つて物事を判断できる人間を育てるよう、時代を先取りした発想でもって教育に当らねばと思

います。本校の先輩達が遺してくれた素晴らしい校風を将来にわたって継承していくことが、私達に課せられた責務と自覚し、日々精進したいと思ひます。江風会の皆さん、母なる東淀川高校と後輩のためにいつまでも変らぬ暖かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終りに江風会会員皆様の御健勝とますますの御活躍併せて本会の発展をお祈りし、ごあいさついたします。